



副センター長挨拶

中島 孝治(卒後臨床研修センター副センター長)

本年7月より、卒後臨床研修副センター長を務めさせていただいております。前任の小松弘幸先生が、医療人育成支援センター教授に就任され卒後臨床研修センター長に昇進されましたので、私が後任を拝命することとなりました。12年の長きにわたり副センター長を務めておられました小松先生と比べると、力不足、経験不足であること、明らかではありますが、これまでの病棟での指導医経験や、2年間の卒後センター教員としての経験を生かしながら、研修医の皆様がより良い研修が送れるよう取り組んでいきたいと思っております。附属病院および協力病院の先生方、そして研修医、学生の皆さん、どうかよろしく願いいたします。

平成28年度「宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナーin佐土原」開催

平成28年9月17～18日に、宮崎県佐土原町の企業施設において、宮崎県地域医療支援機構主催(宮崎大学医学部共催)の「平成28年度宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナーin佐土原」が開催されました。

本セミナーは、研修医や医学生がアニマルラボで高度な外科手技を主体的かつ実践的に学習できる全国でもあまり例を見ない先進的な教育企画で、講師には宮崎大学外科学講座の七島篤志教授を中心に県内外より計10名指導医をお迎えしました。参加者は、宮崎大学医学部附属病院研修医8名、宮崎大学医学部5年生1名の計9名でした。

1日目は講習と腹腔鏡シミュレータ(ドライBOX)手技トレーニング、夜は外科キャリアセミナーと懇親会、2日目はアニマルラボ実習が行われました。外科キャリアセミナーは懇親会と同時並行で進められ、様々なキャリアを有する医師と現在臨床研修や臨床実習の真っ只中で研鑽に励む研修医・医学生が本音で語り合う貴重な場となりました。



研修医の声



あっという間に寒くなり、研修期間も残り半年となりました。今年度は、古賀総合病院、串間市民病院、大学の第一内科、産婦人科をまわり、今は大学の麻酔科で研修しています。初めての場所はもちろん、リピーターとして行った科でも、新しい学びが多く非常に楽しく過ごすことができました。一方で失敗して落ち込むことも多く、医者として働いていく自信を度々失いました。それでもこの1年半研修医を続けてこれたのは、周囲の人の励ましと、そしてなにより患者さんからのありがとうの言葉のお陰でした。朝起きるのが辛い季節になってきましたが、残り数ヶ月頑張っていきます。



研修医になってから半年が経ちました。学生時代に学んだことが目の前で展開され、その診療にかかわれることの楽しみもありつつ、まだまだ知らないこともたくさんあることを痛感させられる毎日です。中でも一番驚かされるのは、アセスメント能力です。知っている知識も全然使えていなかったり、思いがけないところで知識が繋がったり、そもそも知識が足りなかったり。あまりの力のなさに落ち込むこともあります。丁寧に充実したご指導をしてくれる先生方に感謝しつつ精進できればいいなと思っています。今後も宮大研修の強みである自主デザイン研修プログラムを生かして、いろいろな診療科で研修を積み重ねていこうと思っております。これからご指導のほど宜しくお願い致します。

そつごのそつご 第2回 宮崎を総合診療のメッカに!

宮崎大学地域医療・総合診療医学講座 早川 学(H21年度修了)

皆さん、こんにちは!地域医療・総合診療医学講座の早川です。私は千葉県出身ですが、宮崎大学医学部を卒業後、2008年より宮崎大学の初期臨床研修プログラムで医師としての一步を踏み出しました。学生時代は陸上部に所属しており、その時の仲間とは今でも定期的集まり遊んでいます。一生の付き合いができるかけがえのない仲間と出会い、職種に関係なくそれを実感できる時間を過ごせるのも本当に宮崎に残って良かったと思える瞬間です(写真①)。みんな・・・大人になったなあ(笑)。

初期臨床研修修了後、「医師として幅広い知識や技術を身に付けたい!全人的に人を診れるようになりたい!!」との思いから地域医療・総合診療医学講座に入局し、串間市民病院での3年間の勤務を経て(内科2年・整形外科1年)、2012年より県立日南病院・内科に勤務しています。現在は日々の業務に加え、学生や初期・後期研修教育に関わる機会が多いのですが、県立日南病院での医学教育システムも軌道に乗り、私自身学ぶことが本当に多く、大変充実した時間を過ごさせていただいています(写真②、③)。

宮崎県はなぜか総合診療/家庭医という文化が驚くほど発展途上なのですが、今後は全国レベル・世界レベルで発展していく可能性のある土地であると感じています。講座員は全員が心から信頼のおけるメンバーであり、着実に所属人数も増えてきていますので、我々が中心になって宮崎県の地域医療に貢献できればと思っています(写真③、④)。

今後は、ある時は地域中核病院で病院総合医として、またある時はクリニックや診療所で小児・成人に関わらず予防医療～一次医療まで、またある時は往診・在宅医療でお看取りまでをこなす、宮崎でしか育ち得ないハイブリッドな総合診療/家庭医を目指したいと思っています。

ここ宮崎で、この仲間たちとならそれが実現できると確信していますので、興味のある方はいつでもお声かけ下さい!みんなで宮崎の医療を支えていきましょう!!



①



②



③



④



eレジフェア2016 in福岡」開催



10月10日(月)に福岡国際会議場において「eレジフェア2016 in福岡」が開催されました。夏の大阪・東京に引き続き宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに本院からも医師1名、研修医2名が参加し、研修プログラムや病院の魅力をアピールしました。宮崎県ブースには過去最多となる94名の学生さんが来訪しました。これを機に病院見学を希望する学生さんが増えることを期待したいと思います。



センター教員の紹介

10月1日より現職に就任しました第2内科橋本です。宮崎生まれ、鹿児島大学出身、医者10年生になります。先日、8年ぶりに卒後臨床研修センターを訪れ、私が研修していた時期と比べセンター内の雰囲気ガラリと変わっており大変驚きました。自分が研修医の時期を思い出し、年と経験年数だけ重ねてあの頃と何も変わっていない気がしなくもないですが…。皆さんの悩みは解決できないかもしれませんが、一緒に悩むことはできますので何でも相談して下さい。よろしくお願いします。



第2内科 橋本 神奈先生



研修医マッチング



平成29年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が行われ、医師は10月20日(木)、歯科医師は10月25日(火)にマッチング結果が発表されました。



【医師】	自主デザイン研修プログラム	42名
	小児科研修重点プログラム	0名
	産婦人科/周産期研修重点プログラム	0名

計42名

【歯科医師】	歯科臨床研修プログラム	2名
--------	-------------	----

「未来の医療を語る全員交流会 in MIYAZAKI」



10月3日(月)に宮崎観光ホテルにおいて、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会主催による医学科5年生対象「未来の医療を語る全員交流会 in MIYAZAKI」が開催され、昨年に続き、河野俊嗣宮崎県知事を来賓に迎え、河野雅行宮崎県医師会長、池ノ上克学長をはじめ、宮崎県内基幹型臨床研修病院から指導医・研修医、総勢約170名が参加しました。

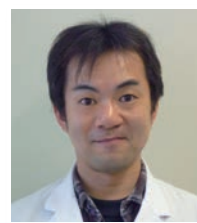
卒後臨床研修センター長でもある医療人育成支援センター小松弘幸教授による基調講演では、ワークライフバランスとキャリアについて自身の経験を交えて熱く語られ、会場は和やかなムードに包まれました。また、宮崎県知事と宮崎県医師会長が各テーブルをまわっての医学科5年生全員との名刺交換等、本年も盛り沢山の内容で、盛会のうちに終了しました。



研修センターコラム

「1内科と2内科と3内科と膠原病・ 感染症内科と消化器内科」

宮内 俊一 (卒後臨床研修センター教員)



若い先生方はご存じないと思いますが、膠原病・感染症内科は昔、第2内科の一診療グループでした。2006年にその第2内科から分離して独立したわけですが、現在でも同門会総会や医局旅行は合同で行います。そもそも両科とも5階東病棟が主戦場であり、当直医師は第2内科医師だったり膠原病科の医師であったりします。まあ親戚みたいなものですね。さて、旧態のナンバー内科が再編されて臓器別になっていくのかと思いきや、どうやらその流れは進んでいないような、ゆっくり進んでいるような、不思議な動きです。2016年には消化器内科もできました。これからどうなってゆくのでしょうか。他人事(ひとごと)のようでありながら他人事ではない、そんな立場から見守っています。



行事案内 (11月~4月)



11月	26日(土)	平成29年度研修ローレート等説明会
	29日(火)	1年次研修医(医科)グループ面談(1回目)
12月	6日(火)	1年次研修医(医科)グループ面談(2回目)
	17日(土)・18日(日)	平成28年度「指導医のための教育ワークショップ」(宮崎市)
2月	4日(土)~5日(日)	第110回歯科医師国家試験
	4日(土)	基本的臨床能力評価試験
	11日(土・祝)~13日(月)	第111回医師国家試験
3月	上旬	医師研修管理委員会・歯科医師研修管理委員会(修了判定)
	17日(金)	医師・歯科医師国家試験合格発表
	下旬	修了式・修了パーティ
4月	3日(月)~	平成29年度研修医オリエンテーション

宮崎大学 医学部 学生支援課 医療人支援係 (卒後臨床研修担当) (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp